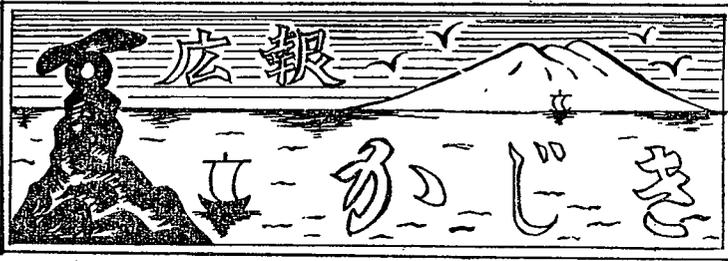


◇ …… 鏡一面をおくる

小山田川内部落川内貞夫君(23才)が町公民館に鏡一面を贈り感謝されている。川内君は35年度町青年団長をつとめ、現在更に青年学級林業グループのリーダーとして活躍しているが34年伊勢湾台風災害地にも榎2俵を贈り罹災者から非常に感謝された青年である。



発行所 鹿児島県始良郡加治木町役場 (各二戸一枚配付)
発行人 曾木隆輝 編集人 中元邦夫 印刷所 吉屋印刷所

人口の動き

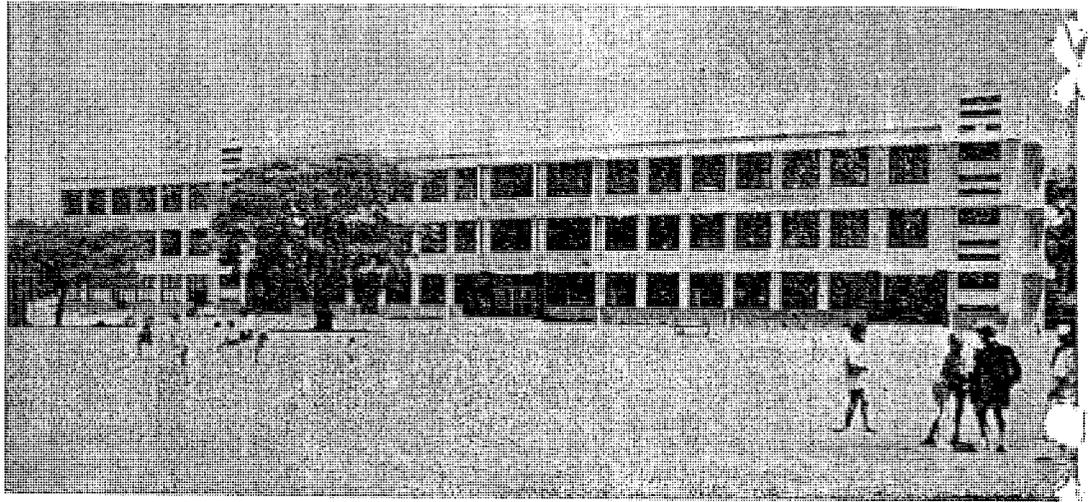
-36年(6月1日現在)-

Table with population statistics: 世帯数 5,056戸, 人口 19,655人, 出生 15, 死亡 5, etc.

総工事費40,833,000円

柁城小鉄筋校舎できあがる

地区民待望の柁城小学校鉄筋校舎ができました。同校舎は、総工事費四〇、八三三、〇〇〇円、鉄筋コンクリート三階建てのべ、二、五四八平方メートル(七七一坪)で内才一期工事として、八八九、五平方メートル(二六九坪)を三十四年十月、島組が落札し、現在地に着手、統一して三十五年度一、六五八、五平方メートル(五〇坪)を同じく島組が施行し去る三月三十一日見事に竣工しました。



=写真=できあがった柁城小鉄筋校舎 写真提供(中原茂春氏)

永い間の問題でありました本町の国民健康保険も法の定めに従い、いよいよ、四月一日から発足いたしましたのでこのあらましをお知らせいたします。

1 療養給付の範囲
入れ歯、住診、入院の場合の給食、看護、その他手術および一切の治療に制限を付けず、半額で治療ができるようになっています。

2 助産費葬祭費の支給
被保険者が出産(四ヶ月以上の流産、死産を含む)又は死亡した場合に助産費又は葬祭費として一件につき、一〇〇〇円を支給いたします。

3 保険給付の制限
同じ病気やケガで保険でみてもらえるのは三ヶ年で三年以上の場合は、その後の分は患者負担となります。

4 保険税について
①算定の方法は地方税法の定めに従い、被保険者の年間医療総見積額から患者負担分(五割)を引いた残りの百分の九十を保険税の課税総額としてあります。

国民健康保険のあらまし
①算定の方法は地方税法の定めに従い、被保険者の年間医療総見積額から患者負担分(五割)を引いた残りの百分の九十を保険税の課税総額としてあります。

②按分の比率
この課税総額を次の四つの比率に按分して、それぞれの税率や税額を算出し、これによって計算された合計額が各人の年間保険税となります。

③督促手数料、延滞金及び延滞加算金、又は滞納処分については一般町税と同じです。

④納税
毎年五月、八月、十月、一月の各末日までの四期ですが、第一期の五月の場合はまだ町民税の基礎となる所得額が決定していませんので、所得割の計算にまかしては、一応前々年度の四分の一を仮の課税額として納入していただき、二期以後で修正することになります。

⑤納税奨励費および報償費
これも一般町税と同じく納税組合の納期内完納部落に對し、一戸当り十円及び納入額の百分の二を支給いたします。



就任の二挨拶

岩沢助役の任期満了の後に不肖私が町助役として、就任することになりました。

加治木女子大学生
アメリカのテキサス州出身の女子大学生グレタ・キーン(二十五才)は、去る三月十八日久保田県立図書館長の紹介で加治木を訪問、曾木町長宅で一泊加治木の古い歴史についての話しを聞き電門司察元などを視察した。

町役場関係
町では保険衛生課の新設と町立保育所の開設にもない先般、次のように人事異動と新規採用を発令しました。

人事異動
町役場関係
町では保険衛生課の新設と町立保育所の開設にもない先般、次のように人事異動と新規採用を発令しました。

正副議長など決る

臨時第二回町議会

臨時第二回町議会は、五月十六日午後一時から町議事堂で、開かれ、正副議長並びに常任委員会の委員を、次のとおり選任しました。

- 正議長 中摩仙
副議長 城松夫
臨時第二回町議会は、五月十六日午後一時から町議事堂で、開かれ、正副議長並びに常任委員会の委員を、次のとおり選任しました。

- 文教育委員会
築港委員
建設経済委員会
大宮路篤男、垂内武夫、川原光、土橋習一、郡山南男、義坂猪三郎(計八名欠員一名)

- 町役場関係
町では保険衛生課の新設と町立保育所の開設にもない先般、次のように人事異動と新規採用を発令しました。

自動電話切替は9月 申込みは早目に

待望の自動電話となるため
の加治木電報電話局の新庁舎
は、目下町内諏訪町に工事中
であり、工事予定ど
おり順調に進捗し、工事の
完成に引続
き機械の
搬入、整備
ならび市内
線路ケーブル
の拡張工
事を実施し
、いよいよ
9月上旬に
は、自動電
話に切替え
られます。
自動電話
になりま
す。いろいろ
の点でたいへ
ん便利になり
ますが、同局
は自動切替え
と同時に、現
在申し込み中
の一〇〇ヶの
加入電話と
農村公衆電話
六ヶ、委託
公衆電話一ヶ
を開設させ

さらにこの外に一〇ヶの電
話を、新設開通させること
なっており、これより加治木
町内の電話は約五〇〇ヶとな
りますので、その早期実現が
待たれております。
なお、新設電話二二〇ヶの
申し込みには、まだ相当余裕
があるので、架設希望の方は、
早目に申し込まれるよう同局
では望んでおります。
なお、加治木町商工会では
電話架設代金の融資あつせん
を行なっており、二六、五〇
〇円で単独電話が取り付けら
れます。

昭和36年度加治木町の
学校教育方針

国及び県の教育方針に則り
学校教育本旨の顕現に努力し
特に

- 1 科学する子ども
- 2 実践する子ども
- 3 粘り強い子ども
- 4 健康な子ども
- 5 明朗な子ども

を育成すると共に、意欲的な
経営によつて、健全明朗な校
風の樹立に努め、以て職責の
遂行を期す。

●努力目標

- 1、学力水準の向上
- 2、科学技術教育の振興
- 3、道徳教育の徹底
- 4、体育の充実
- 5、情操教育の振興
- 6、事務の能率的処理

以上のような方針と目標を達
成するには教師自らの旺盛な
職責感によつて、実践を基調
とし、その特性を發揮し、基
礎として、加治木町の発展に
つなげる教育の向上を旨とし、
個々の教育に即して児童生徒
一人一人の人格陶冶と、学力
向上に邁進しその実績を高揚
すること。

(昭和36年3月31日教育長か
ら各学級長に達示された)

新役員会
去る5月17日、町議会議事
堂で開かれた農業委員会、
次のとおり会長、会長代理を
決定しました。

○会長 城 松 夫
○会長代理 築 瀬 憲

の徴収率を引き上げること
にいたしました。
本町の納入成績は県内で最
下位にあり、実情と財政政
策に徴収成績の向上に努力す
べきであることより、観点から三
十六年度は九十三%に引き上
げたわけで、予算としては決
して過大でないことを承知
いたしたいと存じます。
私は始めに申し上げました
本町の最近の新築家屋が増加
した事等を考え合わせ、又更
に先頃の調査で一部には下げ
るべきものも出ましたし、又
一部にはそのままでなく引き
上げを要するものも出て来る
であろう事を考え合わせて見
ますと、家屋関係では固定資
産税の予算として妥当でない
とは申せないと信じます。只
宅地関係においては多少問題と
なるものも一、二出てはしま
ないかと憂えてはいますが、全
体として決して増税でないこ
とを併せてお含み願いたいと
存じます。

四 その他の収入

その他公営企業及び財産收
入、使用料、手数料、国庫支
出金、県支出金、繰入金、繰
越金等を見込み、又雑収入六
百六十九万九千五百円、国民年
金印紙売代金見込み、町債
は千五百七十万円として、之
は港湾都市計画、公営住宅、
温泉、加中新築等に比し二百
二十万九千円の増となりまし
た。

五 まとめ

才入の見積りも参考資料で
と覽のとおり依存財源が自主
財源の六千四百万より一千五
百万も上廻り、地方交付税、
国庫支出金は別として町債一
千五百七十万円を見込まねば
ならない町の財政状態をごさ
いします事は、甚だ面白くない
次第であります。これだけ

フランス大使が来加

去る四月二日フランス大使
ダリダン氏は令息ドミカ君
を伴つて、町役場を
訪問した。曾木町長中
摩議長など出迎えた
が、約一時間に亘り
古くはつた焼物の話を
きき、ついで小山田
の竜門司焼の窯元を
視察した。大使は前
世記のフランス美術
は大したものがある
ますが、日本の古い
ものは又別の美しさ
が残つています。若
い頃から焼物を見る
のが好きで、今度も
わがやが竜門司焼と苗代川の
焼物を見に来たのだ。特に
黒い肌は何ともいえず。特
に鹿島島の景色気候人情に
あふれ、この思いは生涯忘れ
せんとあいきよをふりま
した。

花びんに署名するフランス
大使(竜門司焼工場にて)

わたしたちの町の 今年の才入予算は？

今年の町才入予算については
本紙七三号(昭三六、四、二
八発行)で才出面の説明をい
たしましたので、今回は才入
面について説明申し上げます

納税に
6月の納税は
町民税第1期分と
犬税です。
7月は
固定資産税第2期
分です。
ご協力下さい

二 町民税

三十六年度町税の中、町民税
は、一千三百七十八万五千円
を計上しましたが、滞納繰越
分、五十七万二千円を引きま
すと、三十六年度町民税は、
三十五年度に比し、二百八十
八万三千円の増加で計上いた
しました。

三 地方交付税

最後に地方交付税でありま
すが、今回の予算は三千一百
万円を計上し昨年比し七百
五十万円の増であります。三
割二分五厘弱の増であります
ので一見不安のようでありま
すが、よく考えて見ますと新
年度の政府の予算中、地方交
付税は三、七三億円でござ
いまして、三十五年度当初の
二、八六五億円に比し九〇八
億円の増額であります。又三
十五年度は地方公務員の給与
改訂に伴いまして二四〇億円の
追加を合わせまして三千一
百五億増となり、その増加
率は二割一分強となつていま
す。それなら国が二割一分増
になつておるのに町が三割以
上も増やすことはどうかと、
町も同額と見ればよいのでは
ないかと考え方もありますよ
う。

町青年団の組織を改革

部落団との直結体へ
減少対策 協議会できめる

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

これは、一見大変な増税の
ように見られますが、決して
私は増税を意図してはませ
ん。

千二百二十三万円となつて
います。それは何故そう増えた
かと申しますと、これは主と
して法人税や、給料所得の増
による自然増でありました。
そこで三十六年度の調定見
込額は一千三百九十萬九千円
で僅かに四十六萬五千円の増
加を見込んでいます。その中
の一千三百二十一萬三千円を
予算化することとしました。

三 固定資産税

給与ベースの改訂等も行な
われ上したわけでありまして
去年を上回ることではないとい
う事はわかりきつた事でござ
います。又法人税の方も或る
程度実績は考えられますので
この予算案に町民税が三百八
十三万五千円増となつてい
ても増税するのではないとい
う事も含み載せて、只収入が
多くなつた方は高くなること
は当然であります。

町青年団の組織を改革

部落団との直結体へ
減少対策 協議会できめる

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

今年その内容を詳しく、申し上
げて御了解を得て置きたいと
思いますが、三十五年度の町
民税調定額は、一千三百四十
四万四千円であつたものを、
徴収率九二%と見て、一千九
十五万円を当初予算として計
上したが、だんだん実績によつて
増えて参りまして、三十五年
予算の現在予算計上額は、一

三十五年度現在が二千三百三
十一万一千円、三十六年度見
込みは二千三百四十万七千円
でありまして九十六万円の増
として居ります。而も昨年度
徴収率は調定額に対し九三%
を見込んでいたが、先程
の町民税と同じ様に今年はこの

町青年団の組織を改革

部落団との直結体へ
減少対策 協議会できめる

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

今年その内容を詳しく、申し上
げて御了解を得て置きたいと
思いますが、三十五年度の町
民税調定額は、一千三百四十
四万四千円であつたものを、
徴収率九二%と見て、一千九
十五万円を当初予算として計
上したが、だんだん実績によつて
増えて参りまして、三十五年
予算の現在予算計上額は、一

三十五年度現在が二千三百三
十一万一千円、三十六年度見
込みは二千三百四十万七千円
でありまして九十六万円の増
として居ります。而も昨年度
徴収率は調定額に対し九三%
を見込んでいたが、先程
の町民税と同じ様に今年はこの

町青年団の組織を改革

部落団との直結体へ
減少対策 協議会できめる

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

今年その内容を詳しく、申し上
げて御了解を得て置きたいと
思いますが、三十五年度の町
民税調定額は、一千三百四十
四万四千円であつたものを、
徴収率九二%と見て、一千九
十五万円を当初予算として計
上したが、だんだん実績によつて
増えて参りまして、三十五年
予算の現在予算計上額は、一

三十五年度現在が二千三百三
十一万一千円、三十六年度見
込みは二千三百四十万七千円
でありまして九十六万円の増
として居ります。而も昨年度
徴収率は調定額に対し九三%
を見込んでいたが、先程
の町民税と同じ様に今年はこの

町青年団の組織を改革

部落団との直結体へ
減少対策 協議会できめる

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館

農休日を
町内全部に
設けよう。

町公民館